

コード No. 50010

Human CEA

容量 : 0.1 mg

はじめに : がん胎児性抗原(carcinoembryonic antigen: CEA)は、1965年 Gold らによりヒト大腸がん組織および胎児腸管に存在するがん特異抗原として報告されましたが、後に carcinoembryonic な性格は否定されています。がんのみならず一部の良性疾患でも血中に増量しさらに成人正常組織にも存在しますが、多くのがんで CEA の産生がみられ、また腫瘍の消長が血中値の変動に反映されることなどからがんの診断および治療のモニターに最も広く利用されています。CEA は、分子量約 18 万の糖タンパクで電気泳動上、 β グロブリン域に幅の広いバンドとして泳動されます。CEA の精製標品の分析値は、かなり差異がありますがこれは、糖部分の多様性によるもので糖含有量は 50～60%です。CEA のタンパク質部分は一定で約 600 個のアミノ酸よりなっています。また CEA は 1 分子中に 24～26 個の糖鎖が結合しています。また、肺、脾臓より抽出された NCA (non-specific cross reacting antigen) および胎児便中の NCA-2、正常成人糞便中の NFA-1 (normal fecal antigen-1)、NFA-2 など、CEA 抗血清と交叉反応性を有する CEA 関連抗原の存在が知られています。

本 Human CEA は、樹立胃がん細胞株(MKN-45)の培養上清を過塩素酸等で抽出し、液体クロマトグラフィーによる各種精製工程を経て得られた製品です。免疫学的に CEA と交差反応を示す NCA 等のタンパク質を特異精製操作にて除去した高純度精製品です。

純度 : SDS-PAGE にてほぼ単一ピークを示します

包装形態 : PBS に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水を添加

保存方法 : 2 ～ 8 °C 保存
溶解後 -20 °C 保存 (凍結融解の繰り返しは避けてください)